



(桜まつり)

さくら満開、笑顔も満開

平成20年度 一般会計予算
135億7千500万円
を可決

CONTENTS

平成20年 第1回 定例会	2
平成20年度 一般会計予算	3
一般質問(5人が登壇)	8
常任委員会レポート	13
福祉巡回バス対策調査委員会レポート	16

編集/かほく市議会広報特別委員会

ホームページ: <http://www.city.kahoku.ishikawa.jp>
発行/石川県かほく市議会 住所/石川県かほく市宇野宮二丁目番地

Eメール: gikai@city.kahoku.ishikawa.jp
☎076(28)3(7)126 FAX076(28)3(7)188

福祉巡回バス 対策調査委員会 レポート

福祉巡回バスのルートを 議長に答申

かほく市総合計画において市民の公共交通需要に因應するため、コミュニティバスの導入が盛り込まれていました。

諮問機関として福祉巡回バス対策調査委員会を組織しました。
平成19年11月に第1回委員会を開催し、4名からなる



調査委員会の協議結果を議長に答申

しかし、市が費用対効果を検討した結果、この事業を交通弱者を中心とした福祉巡回バスに切り替えることになり、市議会は議長の

検討部会を設け、ルートの検証や現場視察、バス停の選定などを検討することになりました。
これまでに、4回の検討

部会と2回の委員会を開催し、財政状況と問題点を考慮した上で、市営バス運行ルートを除き、JR七尾線各駅と市役所を経由するルートをとりまとめ、議長に答申しました。
市民生活の安全でうるおのある暮らしを支える公共交通機関として実現に向けて協力していきます。

- 委員会 全議員
検討部会
委員長 沖津千万人
副委員長 遠田 順
委員 宇野 順一
安達 肇

次の定例会は、6月です。 議会を傍聴しませんか。

●本会議・常任委員会の傍聴ができます。
本会議は30名、常任委員会は8名の定員で受付順となります。

6月定例会よりケーブルテレビのかほくチャンネルで本会議の生中継が見られます。



【インターネットを接続している方へ】
議会は、かほく市ホームページで、次のとおり紹介しています。ぜひご覧ください。

映像ライブラリ 【開催の当日に生中継】
市ホームページ映像ライブラリ見るの順で開いてください。

なお、ご覧になる場合は、ホームページに記載されている推奨環境が必要です。
<http://www.city.kahoku.ishikawa.jp>

議場を見学し模擬議会を体験

市内の小学生35人が3月25日、議会議場で模擬議会を体験した。
総合型地域スポーツクラブ・クラブレッツが同市議会の協力を得て初企画し、別宗明敏市議会議長も参加した。
工事請負契約の締結について審議する臨時議会という想定で、児童は市長や議長、議員役を決め、実際に提案理由説明や採決などを行った。
児童は最初は要領が分からず悪戦苦闘したが、約20分で一閉会した。

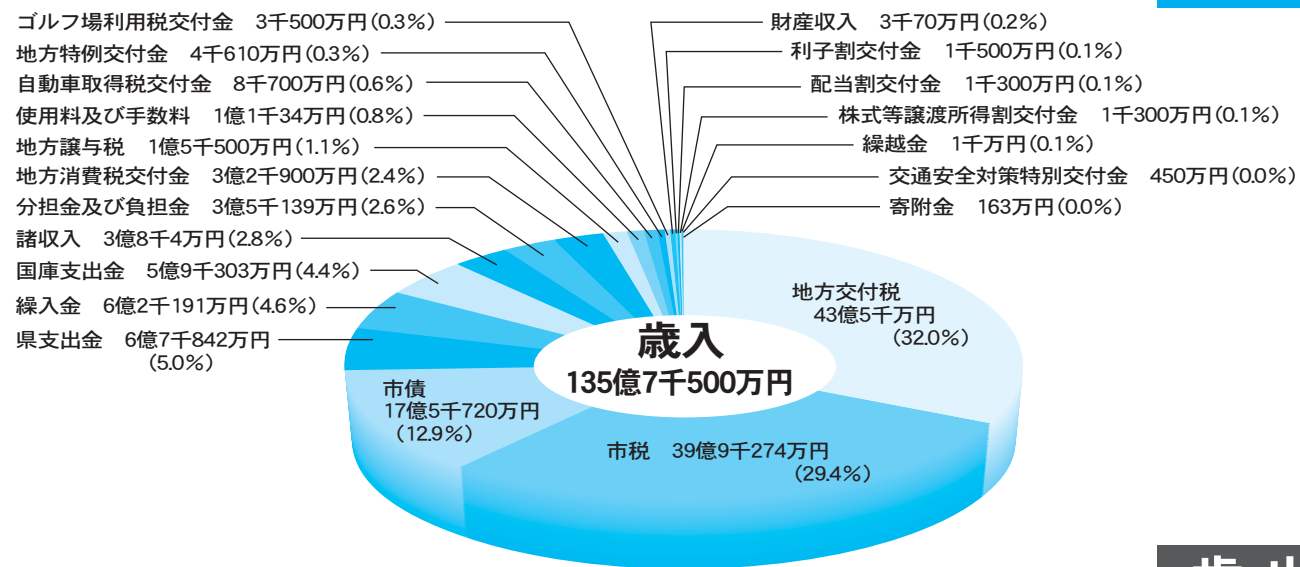


議会を体験する子どもたち

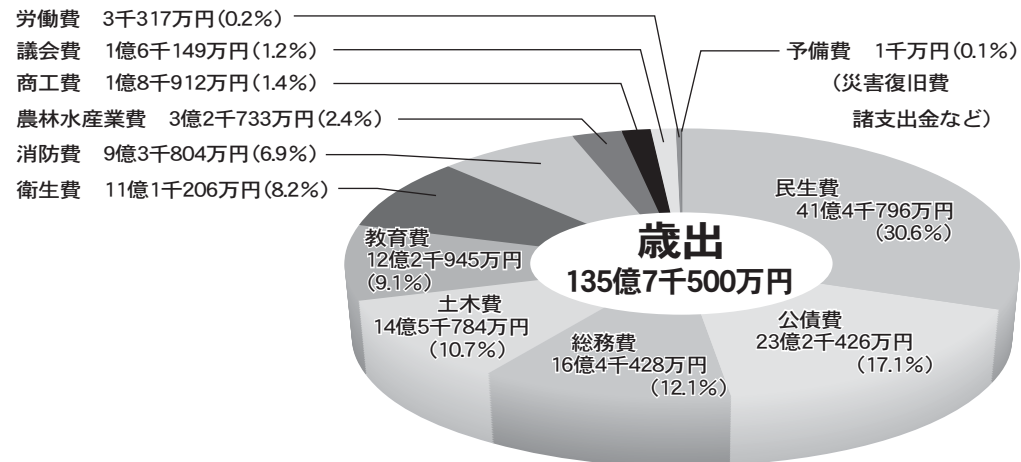
更なる発展と成長のため 礎から前進へ

平成20年度 一般会計予算の内訳

歳入



歳出



●特別会計予算

土地取得特別会計	173万円	老人保健特別会計	4億866万円
市営バス事業特別会計	2千493万円	後期高齢者医療特別会計	3億2千870万円
墓地特別会計	1千640万円	介護保険特別会計	24億9千420万円
ケーブルテレビ事業特別会計	8千600万円	大海財産区特別会計	290万円
国民健康保険特別会計	33億5千900万円	下水道事業特別会計	21億1千600万円
特別会計合計		特別会計合計	88億3千852万円

●水道事業会計

収益的収入	6億7千650万円	資本的収入	1億8千712万円
収益的支出	6億1千554万円	資本的支出	4億3千350万円

平成20年 第1回 定例会

会期 2月29日～3月12日



安全で
暮らしのある
暮らしを

平成20年2月29日から13日間の会期で第1回定例会が行われ、平成20年度一般会計予算など41議案について審議し、原案のとおり可決・承認した。
同意案件5件についても、原案のとおり同意した。
議員提出の意見書2件を可決した。

市民・議会と一丸 になって前進



合併後の4年間で、中学校の建設や大規模改修、統合保育園など大きな事業に取り組んできた。第一次総合計画や行政改革大綱などにより、市として進むべき方向も示すことができ、市長就任1期目で市民や議会の皆様のご協力によりかほく市の「礎」を築くことができたと考えている。

平成20年度は5年目を迎える節目の年でもあるが、合併当初からの厳しい財政状況はこへ来て更に厳しさを増している。「サービスは高く、負担は軽く」という基本理念の見直しも迫られているのが現状だ。

今後は、合併特例法による優遇措置が終了する平成25年度までできるだけ早い時期に、よりしっかりと

合併後の4年間で、中学校の建設や大規模改修、統合保育園など大きな事業に取り組んできた。第一次総合計画や行政改革大綱などにより、市として進むべき方向も示すことができ、市長就任1期目で市民や議会の皆様のご協力によりかほく市の「礎」を築くことができたと考えている。

この4月1日からは待望のケーブルテレビが開局し、秋には大型商業施設のオープンも予定されている。本年は市にとって新たな局面を迎える重要な時期でもあり、市民や議会の皆様と力を合わせ一丸となって将来への取り組みを進めて行くことが求められている。

市長として1期目の任期は終了するが、かほく市の更なる発展と成長のため、進むべき方向を間違わずに市民全員が足並みを揃えて前進していくことを願っている。

平成20年度 一般会計主要事業一覧

- 新たな発展のための取り組み**
 - 高松北部統合保育園の建設 4億9千918万円
 - 宇ノ気北部統合保育園の用地購入 5千618万円
 - 市内6小学校AED設置 207万円
 - 新後期高齢者医療事業(特別会計含む) 7億1千711万円
 - 学童保育クラブ運営時間の拡充 4千224万円
 - 幼児健診フォローアップ体制充実 37万円
 - 予防接種事業の充実(麻しん接種拡充分) 585万円
 - 救助工作車の更新 3億3千403万円
 - 七塚第3分団消防車更新 9千313万円
 - 2千万円
- 地域が一体となって支える健康・福祉のまちづくり**
 - 赤ちゃんすくすく応援事業 840万円
 - 児童手当給付事業 3億2千73万円
 - 障害者自立支援給付費事業 3億2千638万円
 - 赤ちゃんすくすく応援事業 840万円
 - 児童手当給付事業 3億2千73万円
 - 障害者自立支援給付費事業 3億2千638万円
 - 防犯行政無線の整備 300万円
- 創造力と生きがいをはぐくむ教育・文化のまちづくり**
 - 新高松中学校整備事業 5千337万円
 - 新大海西山弥生の里復元住居整備事業 399万円
 - 新地域伝統芸能映像記録製作 400万円
 - 幼稚園教育の普及充実 1千430万円
 - 新高松中学校整備事業 5千337万円
 - 新大海西山弥生の里復元住居整備事業 399万円
 - 新地域伝統芸能映像記録製作 400万円
 - 幼稚園教育の普及充実 1千430万円
- 安全でうるおいのある暮らしを支える生活基盤の充実したまちづくり**
 - 新宇ノ気川ハザードマップ作成 300万円
 - 防災行政無線の整備 300万円
 - 新平成20年度新規事業 650万円
 - 平成20年度拡充事業
- 地域の発展と活力を支える機能的な都市基盤を整ったまちづくり**
 - 新橋りょう長寿命化計画の策定 190万円
 - ケーブルテレビ整備 1億3千198万円
 - 新平成20年度新規事業 650万円
 - 平成20年度拡充事業
- 様々な産業が育ち、地域の個性を創出する元気なまちづくり**
 - 生涯学習フェスティバルの実施 313万円
 - 新平成20年度新規事業 650万円
 - 平成20年度拡充事業
- 市民がともにふれあう連携・交流のまちづくり**
 - 生涯学習フェスティバルの実施 313万円
 - 新平成20年度新規事業 650万円
 - 平成20年度拡充事業



AED講習会

19年度一般会計補正予算 (第8号)

外日角小学校耐震補強事業に 2億6千201万円

歳入歳出をそれぞれ3千379万円を減額するもの。(全員賛成)

歳入の主な内容

- 市税** 市民税3千289万円、固定資産税2千640万円、市たばこ税380万円、都市計画税230万円を増額。
- 地方特例交付金** 地方特例交付金146万円、特別交付金1千355万円を減額。
- 地方交付税** 普通交付税8千446万円を増額。
- 分担金及び負担金** 保育料800万円を増額。換地精算受任事業地元負担金など事業精算により271万円を減額。
- 使用料及び手数料** 総合交流促進施設キャンプ場等使用料60万円、その他25万円を減額。
- 国庫支出金(国から)** 後期高齢者医療制度円滑導入事業費補助金867万円、地方道路整備臨時交付金990万円、公立学校施設整備費補助金9千200万円、その他290万円を増額。障害者自立支援給付費負担金など事業精算により2千365万円を減額。
- 県支出金(県から)** 原油価格高騰対応省エネルギー型農業機械等緊急整備対策補助金343万円、その他626万円を増額。心身障害者医療給付費補



耐震補強が待たれる外日角小学校

- 助金など事業精算により4千万円を減額。
- 財産収入** 普通財産買付収入331万円、利子及び配当金368万円、土地売却収入282万円を増額。
- 寄附金** 公民館改修寄付金4万円を減額。
- 保育園受託事業収入52万円、その他51万円を減額。
- 市債** 外日角小学校耐震補強事業債1億6千150万円、その他680万円を増額。ケーブルテレビ整備事業債など事業精算により1億4千590万円を減額。

歳出の主な内容

- 繰入金** 老人保健特別会計繰入金10万円を増額。財政調整基金3億1千100万円、その他21万円を減額。
- 諸収入** ごみ収集協力金400万円、その他152万円を増額。
- 議会費** 議会運営事業72万円を減額。
- 総務費** 基金積立金336万円、その他69万円を増額。ケーブルテレビ事業など事業精算により1億5千546万円を減額。
- 民生費** 社会福祉総務事務費19万円、その他34万円を増額。保育園建設事業など事業精算により4千797万円を減額。
- 衛生費** 後期高齢者医療制度事業299万円、水道事業出資金520万円を増額。老人保健特別会計繰出金など事業精算により1千553万円を減額。
- 労働費** 生活バス路線維持対策事業451万円を増額。
- 農林水産業費** 原油価格高騰対応省エネルギー型411万円、その他1万円を増額。市単土地改良事業など事業精算により2千496万円を減額。
- 商工費** 商工費貸付金・利子補給事業78万円を増額。観光イベント事業など事業精算により600万円を減額。
- 土木費** 都市計画総務事務費311万円を増額。都市計画街路事業など事業精算により1千197万円を減額。
- 消防費** 能登半島地震災害復旧対策事業など事業精算により406万円を減額。
- 教育費** 外日角小学校整備事業2億6千201万円、七塚体育センター維持管理事業113万円、その他115万円を増額。西田記念哲学館維持管理事業など事業精算により835万円を減額。
- 災害復旧費** 農地・農業用施設災害復旧費62万円を増額。
- 公債費** 元金・利子償還事業4千896万円を減額。

ケーブルテレビが開局



19年度特別会計補正予算

- ◆土地取得特別会計補正予算(第1号)
 - 土地開発基金利子積立7万円を減額。
- ◆市営バス事業特別会計補正予算(第1号)
 - バス事業整備基金積立金62万円、車庫シャッター修繕37万円を増額。
- ◆国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
 - 保険給付費7千551万円を減額。
- ◆老人保健特別会計補正予算(第2号)
 - 医療諸費1億499万円を減額。
- ◆介護保険特別会計補正予算(第3号)
 - 介護保険事務費事業134万円を増額。
 - 地域支援事業費332万円を増額。

工事請負契約の締結について一部変更

- ◆大海財産区特別会計補正予算(第2号)
 - 財産造成基金積立金事業44万円を増額。
- ◆下水道事業特別会計補正予算(第3号)
 - 公共下水道普及促進事業213万円、下水道事業整備基金積立金41万円、農業集落排水施設普及促進事業101万円、公債費元金償還事業5億2千717万円を増額。

条例改正など

- かほく市部制条例等の一部を改正する条例
 - 市の組織機構の改正において、水道課と下水道課の2課で構成している企業局を廃止し、産業建設部内に上下水道課を創設するもの。
- かほく市税条例の一部を改正する条例
 - 入湯税の課税免除及び税率について見直しを行い改正するもの。
- かほく市児童館条例及びかほく市砂利等採取審議会条例の一部を改正する条例
 - 各種審議会・協議会等から議会選出委員を除外することにつき、該当する2件の条例において、当該規定を削除するもの。
- かほく市国民健康保険条例の一部を改正する条例
 - 国民健康保険法の一部改正に伴い改正するもの。
- かほく市介護保険条例の一部を改正する条例
 - 介護保険法施行令等の一部改正に伴い改正するもの。

専決処分の主なもの

- ◆19年度一般会計補正予算(第7号)
 - 緊急福祉灯油助成事業422万円、除雪関係経費730万円を追加するもの。

緊急福祉灯油助成事業に422万円

- かほく市後期高齢者医療に関する条例の制定
 - 後期高齢者医療制度に関し、県と市町の役割を明確化するために条例を制定するもの。
- かほく市ケーブルテレビ施設整備基金条例の制定
 - ケーブルテレビ施設整備基金を設置する条例を制定するもの。

意見書

道路特定財源の暫定税率堅持及び関連法案の年度内成立を求める意見書

道路整備は、市民生活の利便、安全・安心、地域の活性化そして、高規格道路など主要な幹線道路のネットワーク形成や防災対策、通学路の整備などの安全対策、さらには救急医療など市民生活に欠かすことができない。

こうした中、現行の道路特定財源の暫定税率が廃止された場合、本市では1億1千万円規模の減収が生じ、道路の新設はもとより、教育や福祉といった他の行政サービスの低下など深刻な影響を及ぼしかねないことにもなる。



浜辺に流れ着いた漂着ごみ

海岸漂着ごみの処理責任の明確化に関する意見書

近年、日本海沿岸の各自治体は、海岸漂着ごみの処

- 提出議員 富澤 明次
賛成議員 竹内 幹雄
沖津 千万人 (全員賛成)

同意

- かほく市敬老年金条例の一部を改正する条例
 - 支給額を年額6千円から3千円に引き下げるための改正をするもの。
- かほく市ふれあい荘条例を廃止する条例
 - ふれあい荘を社会福祉法人白千鳥会へ管理移管することに伴い廃止するもの。
- かほく市商工業振興条例の一部を改正する条例
 - 1千万円を超える助成金額を交付する場合において、これまで運用として実施してきた3年分割を正式に条例の中で規定するもの。併せて、助成の申請時期など所要の改正について行うもの。
- かほく市産業文化センター条例の一部を改正する条例
 - 一般貸出部分の面積、使用料などについて、全館を一斉に見直しするもので、併せて所在地の地番訂正など所要の改正について行うもの。
- かほく市営バス設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
 - 「看護大学線」について、要望のあった大学構内にバス停を設置し、高松駅から車庫前の区間を運行路線として追加するもの。
- かほく市公共下水道受益者分担金条例の一部を改正する条例
 - 延滞金利率の規定に一部誤りがあったため、今回訂正するもの。
- かほく市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例
 - 延滞金利率の規定に一部誤りがあったため、今回訂正するもの。
- かほく市奨学資金支給条例の一部を改正する条例
 - 学校教育法の一部改正に伴い条例を改正するもの。
- 事務の相互委託に関する規約の制定及び事務の相互委託に関する規約の一部変更
 - 現在、金沢市・白山市・かほく市・川北町・野々市町・津幡町・内灘町で実施している住民票などの広域

お詫びと訂正
議会だより(第16号)の3ページの水道事業会計補正予算(第2号)の説明欄に間違いがありました。次のとおり訂正させていただきます。
(誤)・・・7万円を減額。
(正)・・・930万円を減額。

一般質問

安全な地元農産物の生産拡大を 販路拡大や担い手の育成に取り組む

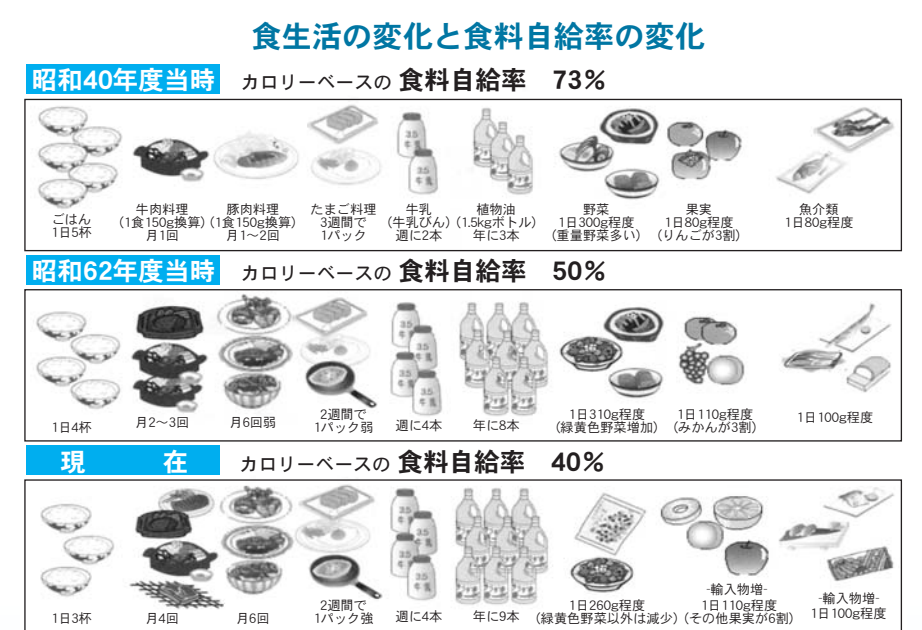


宇野 順一 議員

Q 農薬混入餃子問題で、食の不安をかきたてる事件が起き、極めて遺憾である。我が国の食料自給率は低下し、海外に60%を依存。いつまでもお金を出せば買える時代はそう長くない。安全で安心な地元農産物の生産拡大が急務だと考えるが、市としての取り組みは。

A 油野市長 昨今、報道されている冷凍餃子の農薬混入事件のほか、BSE感染

牛肉問題や食品の偽装表示など、我が国の食の安全を取り巻く環境は輸入食料をはじめとして非常に脅かされており、大変憂慮すべき状況となっている。国は食料自給率を平成27年度までに45%にする計画を立てている。市としても平成18年度より市、農協、生産者が一体となり「かほく地域農産物ブランド化推進プロジェクト」として、ぶどう・紋平柿・大根・す



い・さつまいも・長いもの6品目をブランド化することにより、販路の拡大や担い手の育成を図り、地産地消の推進に取り組む。地元農産物の農業者の顔、作姿が見えるような、安全で安心して買っていただけるようPRして行かないければならないと考えている。幸いにも、河北潟の農家を含む共同販売やJAの産地直売コーナーは、消費者の皆様から大変喜ばれている。

また、本年秋にオープン予定の大型商業施設での地元農産物の納入販売も見込まれ、市としても今後の地産地消の拡大に期待している。



遠田 順 議員

Q リサイクルごみを出し忘れた方のために、野々市町では平成8年から常設資源回収場を設けている。

当市でも市民のニーズに応えるため、常設資源回収場(仮称:エコ・ステーション24)の設置の考えは。

A 西市民部長 指定日に資源ごみを出せない方々も出てきている。常設の資源回収場を設置することは出す機会が増え、利便性を考えると理想的だ

が施設の容量や管理面の課題を整理したうえで先進的事例を参考に検討したい。

公的窓口に「活字文書読み上げ装置」を設置し、公的書類に「音声コード」を取り入れる考えは。

A 油野市長 「活字文書読み上げ装置」を市の窓口に設置しても、文書などを持参して頂くことになる。障害福祉サービス制度において一割負担で購入ができる。今後は広報などで周知を図り活用機会を拡大する。また「音声コード」を利用した発刊物の普及率も検討したい。



野々市町の常設資源回収場 (エコ・ステーション)

地球温暖化防止対策の実行計画は、平成20年度より策定する予定

Q 地方公共団体は、温室効果ガスの排出抑制のため実行計画を策定・公表が義務化されたが、市の対応は。

A 市長 これまで宇ノ気・七塚・高松の3庁舎を対象に環境ISOの取り組みを進めてきたが、平成20年度から「かほく市地球温暖化防止実行計画」を策定する予定であり、すべての組織・公共施設を対象に積極的に取り組む。

常設資源回収場の設置の考えは 市民の利便性を考え検討する

一般質問

一般質問

飲用井戸の衛生確保は市が管理する井戸でない



富澤 明次 議員

Q 一般飲用井戸は祖先から受け継いだ地域生活文化の一部だが、その衛生確保対策は整っているか。

A 油野市長 件数などの実態は把握していない。設置者が管理する必要があるが、広報などで適正管理や上水道への切り替えを求めている。

Q 石川県の飲用井戸等衛生対策要領に県及び市町は関係部局と連携し、設置場所

・設置数・水質の状況、情報の収集・整理に努め設置者などの管理状況について適宜必要な報告を受けるとありますが、市の対応は。

A 市長 現在は行っていないが、今後、収集・整理に努めていきたい。



共同飲用井戸 (白尾地内)

降雪期以外の運転で消雪設備の延命化を図れ
電力料金が嵩み低減化とならない

Q 消雪設備の修理費の増大は休止期間の長さにある。降雪期以外の期間に時々運転してポンプなど電気機器類の延命化や散水ノズルのつまり防止が図れないか。また電力会社と1年を通じた特別契約が結べないか。

A 高井産業建設部長 電力会社と休止期間のポンプ運転の低額契約は応じてもらえない。現在の方法がベストと考える。

消雪井戸による飲用井戸の水枯れ・地盤沈下はないか
現在報告は受けていない

Q 消雪井戸付近で飲用井戸の水枯れ・地盤沈下の現象はないか。

A 市長 消雪井戸は揚水量及び帯水層を確認し、既設の井戸に影響のないよう慎重に検討したうえで掘削工事を行っており、これまで付近でそのような報告は受けていない。



中村 修一 議員

Q 平成20年度における経常収支比率や実質公債費比率、財政力指数、市債残高などの財政指標を示し、市の財政状況を明らかにせよ。

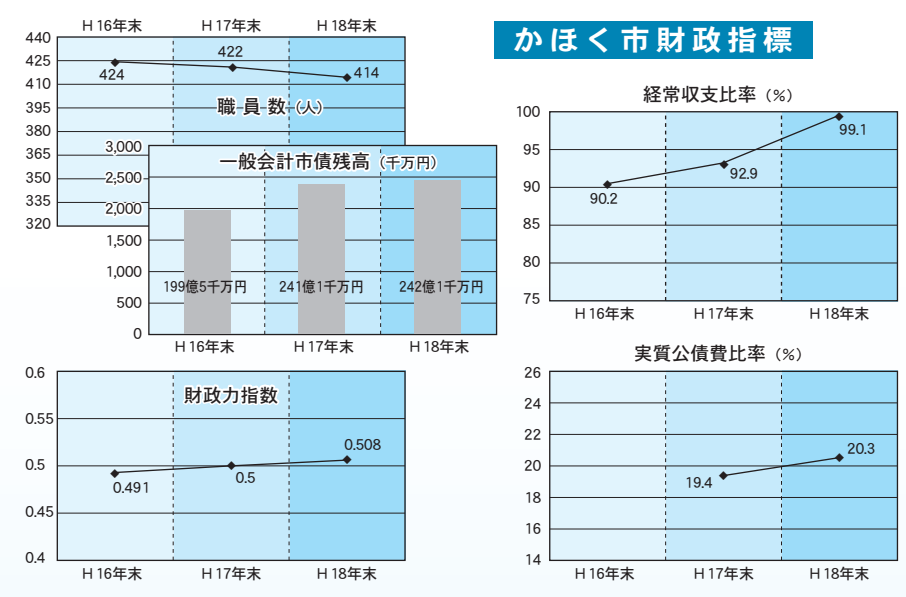
A 油野市長 経常収支比率は100%を超える見込み。実質公債費比率は206%に増えるが、財政力指数は0.513と上がり、市債残高も248億円と1億円減少する見込みである。

平成20年度予算は、昨年議会承認された財政計画に従って、大変厳しい状況ではあるが、元氣なかほく市の実現に向けて、優先順位をしっかりと見極めて編成したものである。

定員適正化計画の見直しをせよ

Q 現時点での定員適正化は勸奨退職も含めて、計画通りに進んでいるのか。

A 市長 平成21年度で計画を6人超える、31人の削減を予定している。平成22年度からの第二次定員適正化計画で、全面的な見直しを図り、一層の削減に取り組みたい。



かほく市の財政指標を示せ 的確な財政運営に努めたい

一般質問

暫定税率廃止の具体的影響を示せ

Q 道路特定財源の暫定税率が廃止された場合の影響を、具体的に示せ。

A 市長 かほく市で約1億1千万円の減収になり、地区要望への対応がほとんどできなくなるほか、津幡バイパスの四車線化や河北縦断道路の開通の遅れなどが見込まれる。不足分を一般財源から補てんすることにより、福祉・教育など市民サービスも大幅な見直しをせざるを得なくなる。

大型商業施設で固定資産税(土地) 1,150万円の増収見込み



おもな質疑

(所管事項含む)

杉本成委員 大型商業施設関係で1千150万円の固定資産税を計上しているが今後の見込みは、また地方交付税の今後の推移は。



大型商業施設の建設現場

山口税務課長 大型商業施設関係の固定資産税ですが、20年度は農地から宅地に切り替る介入畑評価で概ね50%程度で評価し1千150万円21年度はその倍の増収が見込める予定。
酒井財政課長 交付税は合併後10年間、現額を推移。

西田委員 ゴルフ利用税が減額されているが主な要因は。
酒井課長 利用者の減少が

中村委員 今後の市債残高に見込むことが出来る地方交付税の割合は。
また経常収支比率や実質公債比率の今後の見込みは。
酒井課長 一般会計及び特別会計などを含めて465億円の市債残高のうち54%が交付税算入出来る見込み。
経常収支比率については、今後下げていくよう努めた

それ以降は10億円前後減る。施設の統合、職員の定員適正化計画などにより経費節減に努める。
宇野委員 軽自動車税の歳入見込み増の要因は。
山口課長 ガソリン代の高騰により軽四乗用車が年間360台近く増えていることによる。

山口委員 ケーブルテレビ開局で、議会中継やお知らせが放映されるが、広報や議会、たよりは今後も発行するのか。
森田企画情報課長 広報は継続していく。
英議会事務局長 ケーブルテレビの放映は本会議場であり、委員会審議などを考えると議会、たよりは当面は発行していく。

要因と思っている。
多々見委員 AEDが平成19年度に全中学校、20年度に全小学校に配置されるが講習は万全か。
牧消防署長 中学校の先生方には普通救命講習Iを受講済み。
小学校は4月の異動後に講習を実施したい。

審査の結果

- 20年度一般会計予算
- 20年度土地取得特別会計予算
- 20年度墓地特別会計予算
- 20年度ケーブルテレビ事業

総務常任委員会

- 委員長 山口博之丞
- 副委員長 宇野 順一
- 委員 杉本 成一
- 西田 正剛
- 中村 修一
- 多々見 武

- 業特別会計予算
 - 19年度一般会計補正予算(第7号)(第8号)
 - 19年度土地取得特別会計補正予算(第1号)
 - 工事請負契約の締結についての一部変更について
 - 工事請負契約の締結についての一部変更について
 - 認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の制定について
 - ケーブルテレビ施設整備基金条例の制定について
 - 部制条例等の一部を改正する条例について
 - 税条例の一部を改正する条例について
 - 児童館条例及び砂利等採取審議会条例の一部を改正する条例について
- (以上、全員賛成)

一般質問



山口 博之丞 議員

病児・病後児保育施設の拡大検討を 病後児は各地区に1箇所・病児は困難

Q 大海保育園内の病後児保育施設の利用状況及び、今後の保育園統合計画のなかで、同様の施設を考えているか。
A 油野市長 現在までの利用数は5人だが、問い合わせが多く、保護者のニーズや関心は高い。
保育園統合計画の中で、七塚地区、宇ノ気地区にもそれぞれ1ヶ所ずつ設けた

Q 病児保育を市においても考えられないか。
A 市長 病児保育を実施するためには、病院や小児科医に隣接して保育園を建設しなければならない。若しくは、かほく市医師会に本事業への全面的な協力要請を行うとともに、緊急時に幼児を受け入れてもらうための医療機関や日常の医療面での指導などをいたいただく指導医が必要となるため、実施は非常に難しい。



病後児保育室 (大海保育園)

Q 体育施設の使用予約・申請の一元化についての進捗状況は。
A 助実教育部長 河北台健康民体育館をキーステーションにして、施設の空き情報が確認できるようにしたい。
第一段階として、市内6施設について、4月から情報提供するための作業を進めている。今後、対象範囲の拡大やホームページでの公開・予約などの情報提供を図りたい。

体育施設のあり方は
体育施設整備検討委員会を設置し検討

Q 体育施設の維持管理や老朽化に対する対応は。
A 遠田教育長 施設管理は、市内23体育施設のうち21施設で指定管理者制度を導入し、管理経費の削減を図っている。
スポーツ振興計画の施策として、体育施設整備検討委員会を設置し、この委員会で施設の統廃合や改善、使用料などについて検討していく。

道路維持修繕工事費に 1億1,510万円計上



側溝改修工事 (秋浜地内)

おもな質疑

(所管事項含む)

山田委員 道路維持管理事業の工事請負と地区要望で1億1千510万円予算計上されているが、少ないのでは。また、河北縦断道路の全線供用開始の時期はいつ頃か。
大西都市建設課長 合併特

例債の期限である平成26年までに各地区に平準化できるように計画している。
また、河北縦断道路の完成時期は、県としても道路特定財源の維持を前提に、谷く上山田間と同じく約7年かかる。
猪村委員 うのけ総合公園照明取替工事で新設照明は上部まで照らす照明器具に

なっているがその必要性は。また階段付近の照明を撤去する計画は危険なのでは。
大西課長 新設の灯具は既存のものより低くし、階段上部を照らすため全周照明を採用した。
階段付近は新設の照明灯具で照度を確保できる。
別宗委員 県道高松内灘線で白尾、外日角地内における歩道整備の進捗状況は。
大西課長 県は平成18・19年度において用地買収を進めてきた。
今後は白尾区の公園用地買収し、整備する予定。
金田委員 ぶどう研究会補助金も地域農産物ブランド化推進事業補助金のように期限を設けて補助をしていくべきでは。
宮崎農林水産課参事 ぶどう研究会には付加価値の追求と品質の向上を目的に研究費をだしている。
ブランド品の紋平柿などは農産物の振興として補助しており、5年間を期限に効果を精査している。
今後は、補助金のありかたを検証していく。

審査の結果

- 20年度一般会計予算
- 20年度市営バス事業特別会計予算
- 20年度大海財産区特別会計予算
- 20年度下水道事業特別会計予算
- 20年度水道事業会計予算
- 19年度一般会計補正予算(第7号)
- 19年度市営バス事業特別会計補正予算(第1号)
- 19年度大海財産区特別会計補正予算(第2号)
- 19年度介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 19年度老人保健特別会計補正予算(第2号)
- 19年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 19年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 19年度水道事業会計補正予算(第3号)
- 市営バスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- 公共下水道受益者分担金条例の一部を改正する条例について
- 都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例について
- 道路特定財源の暫定税率堅持及び関連法案の年度内成立を求める意見書(以上、全員賛成)

産業建設常任委員会

委員長 金田 正信
副委員長 遠田 順
委員 猪村 明敏
山田 孝一
荒井三喜雄

いつまでも元気で輝くために! 新たに「介護予防課」を創設



新設された介護予防課

おもな質疑

(所管事項含む)

竹内委員 平成20年度より、介護予防課が新設される。病気になる前の対策、健康づくりの面で、大変重要な役割を担うと思うが、その業務内容は。
西市民部 介護の認定者は現在約1千200名で、毎年約40名増えている。今後は介護予防を重視する観点から、介護予防課を創設することとした。当課では、介護保険業務と地域包括支援センターを中心に早期の介護予防業務などを行う。

富澤委員 平成20年度の防災訓練の予定は。また、地域の防災体制づくりを進めていく考えは。
田丸課長 防災訓練は9月上旬に七塚中央公園グラウンドで予定している。

沖津委員 老人クラブの交通安全教室において、夕方や夜間の接触事故防止のため、反射鏡などを配布しているが、その教室に出席できなかった人への配慮は。
田丸環境安全課長 教室に出席できなかった人の中には歩行困難の方もおり、反射鏡を必要としている方の人数把握は難しい。老人クラブと協議し、必要な人に行き渡るよう進めていく。

審査の結果

- 20年度一般会計補正予算
- 20年度国民健康保険特別会計予算
- 20年度老人保健特別会計予算
- 20年度後期高齢者医療特別会計予算
- 20年度介護保険特別会計予算
- 19年度一般会計補正予算(第7号)
- 19年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 19年度老人保健特別会計補正予算(第2号)
- 19年度介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 19年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
- 19年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 19年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 19年度水道事業会計補正予算(第3号)
- 市営バスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- 公共下水道受益者分担金条例の一部を改正する条例について
- 都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例について
- 道路特定財源の暫定税率堅持及び関連法案の年度内成立を求める意見書(以上、全員賛成)

市民文教常任委員会

委員長 杉本 正一
副委員長 安達 肇
委員 寺内 照雄
竹内 幹雄
沖津 千万人
富澤 明次